



最新の機器で検査(上)、ボールを使った無料のストレッチ体験(下)

レディースデイ開設日	
5月	9日(火)
6月	6日(火)
7月	4日(火)
8月	1日(火)
9月	5日(火)
10月	3日(火)
11月	7日(火)
12月	5日(火)
1月	9日(火)
2月	6日(火)
3月	7日(火)

平成28年度、健康クリニックの人間ドックでは、主に40〜50代の主婦層を対象に、受診される方およびスタッフも全て女性による「かんぽきょうレディースデイ」を10月から試行的に開設し、

「かんぽきょうレディースデイ」スタート 女性スタッフによる心を込めたおもてなし

まずは検査前の問診です。口頃の健康に関する悩みや気になることを少しでも解消していただくため、検査前に看護師、保健師による問診を個別に行います。また、検査前の不安を少しでも取り除き、リラックスして受診していただきたいと思います。

また、Fitnessスタッフによるボールストレッチ

「かんぽきょうレディースデイ」では、多くの女性に気軽に安心して利用いただけるよう、レディースデイならではのサービスを意識しました。

55人の方にご利用いただきました。仕事を抱えている女性、職場などで健康診断を受ける機会がありませんが、家庭にいられる女性、そういった機会も少なく自分の健康管理は後回しになりがちです。しかし、女性特有の病気の早期発見・早期治療のためにも、定期健診はとも大切なことです。

コミュニティ活動8件の事業を審査 ポスター・標語コンクールに23公衛協が参加



当協会では、地区衛生組織の実践活動を支援するために積み立てた地域活動支援基金を活用し、公衛協が展開する実践活動、学社融合の取り組みを資金的に支援しており、今年10年目を迎えます。

環境と健康のコミュニティ活動助成事業は、新規に取り組む「導入型」、継続事業で課題改善に取り組む「発展型」、対象範囲を拡大し、住民・事業者・学校などを広く巻き込む「広域型」の3部門で募集しました。今年度の申請件数は、導入型1件、発展型6件、広域型1件、計8件で、6月13日に開催した第2回地域活動支援基金運用委員会で審査が行われ、採択1件、条件付き採択6件、再審査1件となり、それぞれ手続きを開始しました。

環境と健康のポスター・標語コンクール事業(旧環境啓発ポスター・標語コンクール事業)は、公衛協が学校を通じて、小・中学生から作品を募集するもので、従来からの環境分野に加え、新たに健康分野の作品を募集します。今年度

は廿日市市宮島公衛協が新規に参加し、23公衛協、約270校が参加予定です。

集めた作品は、各公衛協で第1次選考を行い、次いで当協会の選考委員会で第2次選考を行った後、部門別に入賞作品を決定します。12月1日の第58回広島県公衆衛生大会(広島国際会議場フェニックスホール)では、最優秀賞受賞者をはじめ、近隣市町からの受賞者への表彰が行われます。入選作品は会場に掲示するほか、当協会ホームページや情報紙などで公開する予定です。また、作品の募集や選考にかかる事務経費、祭りやイベントでの作品展示や表彰式の開催、優秀作品を各種グッズに印刷し活用する事後フォロー活動には経費の助成がありますので有効にご活用下さい。

今年度は、コンクール10周年を記念して、過去の優秀作品などを展示する巡回展示会を県内複数力所で開催します。ぜひ、お近くの会場に足を運んで、新旧の優秀作品をご覧ください。(地域支援課)

の無料体験もできます。検査の合間に、ボールを使った簡単なストレッチを体験し、心も体もリフレッシュしてお帰ってください。

最後に、全ての検査が終了しましたら、当日の検査結果を基に女性医師が丁寧に診察いたします。皆さまにきつと満足していただけたと思います。

今年度は5月からスタートし、既に79人の方にご利用いただいています。

生涯を通じて、健康で明るく、充実した日々を過ごすために「かんぽきょうレディースデイ」を是非ご利用ください。女性スタッフ一同、心よりお待ちしております。

(健康クリニック)

きんせんか 琴線歌

昨年の四月に広島県職員を退職し、山陽女子短期大学にまいりました。それから二年がたち、新たな仕事をスタートすることの大変さを今更にはありますが、身に染みています。▼私は退職前の仕事で、食品関係の企業の方から技術的な相談を受けて、その相談事を解決しなければならなかったことが度々ありました。企業の技術的な課題に対して一つひとつ対応する中で技術力が高まり、課題解決能力が磨かれました。一方、企業の技術者の方も解決体験を糧に解決ルートを大切にしてくださり、新たな課題が発生したときにはまた利用されるようになります。このような関係を繰り返すとお互いに親しみが湧き、何かあったときに協力してあげたいと思うようになります▼学生にも何かあったときに関係が深めら

人材を送り出す喜び

ですが、どの学生にも丁寧に接することを心がけています。学生たちには「コツ」とやていくことの大切さを覚えてもらえれば、それが全てに通じると思っています▼些細な話ですが、社会で役に立つ人材を送り出すことに関わっていることに喜びを感じ、人生ももう少し頑張る気持ちになつてまいりました。(山陽女子短期大学食物栄養学科教授 岡崎尚)



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号 (広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

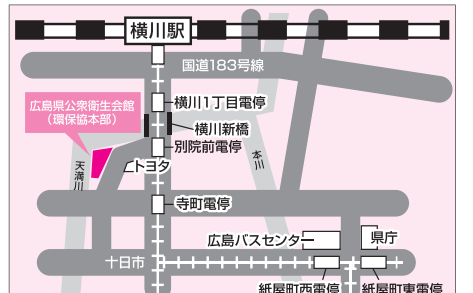
かんぽきょう

検索

基本理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。



【専門研修】

5つのコースで開催
人材育成・組織強化に活用を

専門研修は、公衆衛生推進委員の力量形成および組織強化を図るため、特定のテーマに関する専門的な知識・技術の習得を目的に開催しており、今年度は、5つのコースを実施します。

【基礎研修の
開き方コース】

役員や中堅クラスの推進委員を対象に、新任推進委員へ公衛協とは何かを伝える基礎研修の講師を養成するコースです。今年度からは、新たな取り組みとして、開催を希望する市町公衛協に出向いて実施します。実施の際は近隣公衛協にも参加を呼びかけます。

【ごみ減量・3Rコース】

ごみとは何か、ごみ減

量のために何ができるか、イベントなどの際にいかに関わり住民に広めるかなどの視点でごみ減量について考えるコースです。

【広報・
ツールづくりコース】

広報担当者や推進委員を対象に、紙媒体の

広報物を作る際のポイントや座学と実習を通して学ぶコースです。

【企画づくりコース】

「こんなことをしてみたい」「この課題を解決したい」などの思いを事業という形にするプロセスを、1泊2日で実習を通じて学ぶコースです。

下さい。

【広島県がん検診
推進員養成研修】

広島県全体のがん検診の受診率向上に寄与することをねらいに、広島県認定の推進員テキストを活用し、がん検診に関する知識を習得し、がん検診の受診勧奨を積極的に進める人材を養成するコースです。

いずれのコースも、公衛協活動を実施するにあたり外すことのできないテーマの研修です。計画的に公衛協の事業計画へ組み入れていただき、人材育成・組織強化にご活用ください。

(地域活動支援センター)

オーダーメイドの省エネ対策を提案
「うちエコ診断」受診申し込み受付開始

環境省では、「うちエコ診断士(=環境省認定)」が専用のソフトを使って、各家庭の住まい方やライフスタイルに合わせた省エネ対策をアドバイスする「うちエコ診断」事業を推進しています。広島県も、平成29～32年度にかけて、「うちエコ診断」を通じて、県民の省エネ意識の向上と実践を促し、家庭からのCO2排出削減を目指しています。



専用ソフトを使用し、家庭の省エネをアドバイスする診断士と受診者

6月4日(土)、広島県庁前広場で行われた環境イベント「環境の日」ひろしま大会において、9人を対象に診断を行いました。受診者からは「省エネしているつもりだったが、まだまだ取り組めることが見つかった」「省エネに取り組みたいと思っていたが、行動には移せていない。具体的にどうすればよいか分かって良かった」「帰って家族と話してみよう」「他の人にも勧めてみたい」といった声が聞かれました。

平成29年度は、イベント会場や公共施設・事業所・大規模店舗で実施する予定です。その他、要望に応じて診断士を派遣します。診断料は無料で、広島県在住者であればどなたでも受診できます。詳しくは電話でお問い合わせください。

(脱温暖化センターひろしま)

○ うちエコ診断申し込み手順 ○

- ①申し込み(電話または専用HP)
- ②事前アンケート
- ③受診日や場所の調整
- ④診断士派遣・受診
- ⑤事後アンケート

↓3カ月後

専用HP(<http://www.uchieco-shindan.go.jp/jushin/choice.php>)

お問い合わせ：(082)293-1512

(一般財団法人広島県環境保健協会)

専門研修「広島県がん検診推進員養成研修」
座学と検診施設の見学を行う

広島県がん検診推進員養成研修は、広島県タリーの保健師が講師を務め、広島県が作成したテキストを用い、日本人の約2人に1人ががんにかかるという現状を踏まえ、がん検診の受診勧奨を積極的に進める人材を養成しています。



当協会ドックフロアを見学する参加者

つながらず、がんを防ぐための新12カ条(1条…たばこは吸わない、2条…他人のたばこの煙を吸わない、3条…お酒はほどほどに、4条…バランスのとれた食生活を、など)

と、がんの現状およびがん検診についての知識を深めました。

参加者が少ないことが幸いし、「酒量の適量」はどれくらいか、「皮膚がんの予防のために高齢者でも日焼け止めは塗ったほうがよいのか」「大腸内視鏡検査の力」など、がん検診の重要性が再認識されました。研修修了者は広島県知事から「広島県がん検診推進員」に認定され、認定証が発行されます。

(地域活動支援センター)

(地域活動支援センター)



5月30日、熊野第3小学校4年生約50人を対象に、熊野町公衛協が脱温暖化の出前講座を実施しました。講師は、地球温暖化防止活動推進員でもある熊野町公衛協保健部会長の村田洋子さんです。

貸し出しグッズを改良して教材へ ゲームで私に出来ることを確認



企画づくり研修の様子

授業内容は、地球温暖化に関する学習と私たち出来ることをゲーム感覚で学ぶもので、当協会主催の「平成28年度専門研修企画づくりコース」で企画したものが実施されました。

地球温暖化に関する学習では、温暖化が進むと私たちの生活にどのような影響が出るのかをクイズ形式で学びました。また、私たちに出来ることについて、「正しいごみの分別」をゲームを通して学習してもらいました。

分別ゲームは、環境と健康の学習ルームの貸し出しグッズを参考に「ごみカード」を作成し、町の分別ルールに従って、可燃ごみとリサイクルに分けるという方法で実施しました。



クイズを交えて地球温暖化を伝える村田保健部長(上)、公衛協が作成したごみカードを相談しながら分別する児童(下)

授業後の最後に、「ごみの分別がはつきり分かった」「地球温暖化がどう進むのかわかった」「私たちの生活でCO₂を減らし、良い環境を残したい」など児童が感想を発表しました。

短い時間でしたが大変にぎわい、多くの学びがある学習会となりました。引き続き、世代を超えて地域で取り組む脱温暖化活動に期待します。

(地域活動支援センター)

広島県内の高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物は、計画的処理完了期限を平成31年3月31日として処理が進められていました。しかし、平成28年6月に「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別

措置法」が改正され、平成30年3月31日までを処分期間として、この期間中に指定の処理施設に処分委託しなければ、事実上処分することができなくなりました。

ポリ塩化ビフェニル(以下PCBという)は、化学的安定性、不燃性、絶縁性などに優れているという特性から、「夢の油」と呼ばれ、変圧器やコンデンサをはじめ、幅広く工業製品などに使用されていました。



トランスの絶縁油を採取(左)、PCBの濃度測定を容易にするため、検査を妨害する物質を取り除く(右)。

環境協の 環境生活 センター

④ 環境分析課

PCB廃棄物の処理

迅速分析で処理を円滑に

1968(昭和43)年のカネミ油症事件を契機に、その有害性と汚染が問題となり、1974(昭和49)年からは、製造や輸入等が原則禁止となりました。しかし、当時は、PCB廃棄物を適正に処理できる体制がなかったために、PCBを含む電気機器を適正に処理できず、その所有者が保管するしかありませんでした。

2004(平成21)年から無害化処理が始まりました。PCBを含む電気機器を処理するには、使用されているPCBの濃度を明らかにしなければなりません。PCBの濃度は、電気機器の銘板から調べることができますが、銘板の紛失や劣化などで情報が不足している場合や、電気機器内部の油を交換している場合は、濃度を測定しなければなりません。

環境生活センター環境分析課では、電気機器内部の油に含まれるPCBを、迅速かつ正確に分析ができる体制を整備し、これから佳境を迎える高濃度PCB廃棄物の円滑な処理に貢献していきます。

(環境分析課)

県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施しています。適合した施設は、商品に「認証マーク」を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。



④ 株式会社川廣



認証日:平成29年4月11日
所在地:大竹市港町2-5-10
創業:昭和61年9月
話し手:冷凍部門統括 川根 亮 様

あらゆる場面の温度管理と菌数把握

良い素材を良い加工でお届け

■業務内容
生力キやカキの冷凍加工食品、イワシの冷凍加工品などの製造販売を行っています。

製造業の認証取得は県内初の事例となりました。冷凍加工品は、チルドのカキ製品と異なり、加工工程や使用する原材料が増えるため、より衛生管理が重要になってきます。もと

もちろん、入荷から出荷までの内初の事例となりました。冷凍加工品は、チルドのカキ製品と異なり、加工工程や使用する原材料が増えるため、より衛生管理が重要になってきます。もと

もちろん、入荷から出荷までの内初の事例となりました。冷凍加工品は、チルドのカキ製品と異なり、加工工程や使用する原材料が増えるため、より衛生管理が重要になってきます。もと

もちろん、入荷から出荷までの内初の事例となりました。冷凍加工品は、チルドのカキ製品と異なり、加工工程や使用する原材料が増えるため、より衛生管理が重要になってきます。もと

と、衛生管理に力を入れているのですが、工場の移転・設備の一新に合わせて、第3者の視点を入れて衛生管理を見直すという認証取得を計画しました。

と、衛生管理に力を入れているのですが、工場の移転・設備の一新に合わせて、第3者の視点を入れて衛生管理を見直すという認証取得を計画しました。

と、衛生管理に力を入れているのですが、工場の移転・設備の一新に合わせて、第3者の視点を入れて衛生管理を見直すという認証取得を計画しました。

今年度の「がん検診へ行こうよ」キャンペーンポスターも、広島県がん検診啓発特使 デモン閣下(右)今年のポスターには仕掛けが！スマホをかざして新体験



「がん検診」に行きましょう 早期発見・早期治療へつなげるために

話題の
健康づくり
アラカルト

⑤がん検診の勧め

日本人の死因は昭和56年以降「がん」がトップです。がんやがん予防の特集は、テレビやネットでも多く取りあげられ、目にしない日はありません。しかし、これだけ関心が高いにも関わらず「がん検診」の受診率は決して高くありません。現在、推奨されている「がん検診」は、胃・肺・大腸・子宮・乳房の5種類です。平成25年の国民生活基礎調査では、受診率は男性で4割、女性では3〜4割程度にすぎません。特に子宮がん検診と乳房がん検診受診率は、わが国は世界最低レベルと言われています。広島県のがん検診受診率は、平成25年時点で「肺がん」が全国第30位、「大腸がん」29位、「乳がん」26位、「胃がん」23位、「子宮頸がん」19位で、いずれの検診も国が平成28年度までの目標としていた受診率50%に至っていません。

当協会では毎年がんの発見数を集計しています。昨年度は、がんの疑いも含め、胃がん13件、肺がん5件、大腸がん8件、乳がん2件が発見されました。いずれも早期です。早期発見できれば、早期治療につながり、比較的負担の軽い治療法を選択し、元通りの生活を営むことも可能です。何よりご本人やご家族の心配や不安も軽減されま

す。現在、日本では子宮がん検診は20歳以上、その他のがん検診は40歳以上の方に受診が推奨されています。がん検診は職場健診のほか、住まいの市町でも実施されています。対象年齢、開催場所、時期、本

人負担などは市町によつて異なりますので、確認のうえ、受診しましょう。「がん検診は受けないといけないのか」とよく質問されます。内閣府の発表でも、がん検診を受けない理由のトップは「時間が無い」(47.4%)で、「がんだと分かるのが怖いから」(36.2%)、「経済的負担」(35.4%)、「健康に自信があり、必要性を感じないから」(34.5%)と続いています。

がん検診は早期にがんを発見する唯の方法です。「私は大丈夫」「まだ今度」と思わないで、定期的に検診を受け、がん予防につなげましょう。

中高年の失明原因第一位は緑内障です。緑内障は、放置すると少しずつ見えない部分が広がっていく病気です。早期には片方の眼に見えない部分があっても、もう片方の目がカバーするため、かなり進行するまで自分では気づかないこわい病気です。視神経に障害が起こってしまつと回復が難しいため、早期に見つけて治療を開始し、症状の進行を遅らせることが大切です。

緑内障は、40才以上の20人に1人が罹患していると推定されています。また、緑内障の約7割が、眼圧検査だけでは分からない正常眼圧緑内障です。

正常眼圧緑内障は初期の自覚症状が乏しいため、75〜90%の方が気づかないうちに進行します。

健康クリニックでは、正常眼圧緑内障の早期発見をねらい、眼圧検査に加え、視野検査を導入し眼科健診の充実を図りました。

●人間ドックで実施している眼科検査【視野検査】視野検査は物を見る範囲が正常かどうかを調べる検査で、時間は約5分です。

片眼ずつ検査し、網膜はく離や緑内障を診断する上で欠かせない検査です。

【眼圧検査】眼に空気をあてて、眼圧(眼球内圧)を測定します。高眼圧症や緑内障、網膜剥離、虹彩毛様体炎などの眼の病気にかかっているかどうか検査します。

【眼底検査】眼底の写真を撮り、血管の状態を外から観察します。網膜疾患、視神経疾患などの眼の単独検査はもちろん、糖尿病、高血圧、高脂血症など全身疾患の合併症の病状まで把握できます。

●受診コースについて眼圧検査、眼底検査がコースに含まれている人間ドックを受診される方は、視野検査を単独で追加できます。コースに含まれていない場合は眼科セット(視野検査、眼圧検査、眼底検査)がお勧めです。

定期的な眼科健診は、視力を守る上で、簡単で最も確かな方法です。視力の変化や眼の健康が不安な方、家族に眼病の人がいる場合には毎年1回、眼科健診を受診して眼の健康を守りましょう。

(健康クリニック)



私のクールチョイス

⑥ 私のCOOL CHOICE
大募集!事業
受賞者(その2)

このコーナーでは、【買い替え】、【サービス】、【ライフスタイル】の3つの視点で、さまざまなクールチョイスの事例を紹介します。

- 【買い替え】省エネで高効率な家電、設備、建築物の低炭素製品への買い替えなど
- 【サービス】公共交通の利用やエコレールマークの付いた商品、グリーン電力の選択やスマートメーターによる「見える化」につながる低炭素サービスの選択など
- 【ライフスタイル】家庭でのエネルギー消費量・二酸化炭素排出量を減らす取り組みやエコドライブなど

【ライフスタイル】(グリーンカーテンの取り組み)



かいた緑のネットワーク(以後、緑のネットワーク)に所属しています。海田町ではグリーンカーテンの取り組みが盛んで、緑のネットワークでは毎年、「緑のカーテンマップ」を作成しており、マンション8階の我が家でも約10年前から取り組んでいます。幅8mのゴーヤのグリーンカーテンで収穫したゴーヤはそのまま調理して食べたり、佃煮やジュースなどにして楽しんでいます。緑のネットワークで行った調査では、グリーンカーテンの内側と外側では4℃近くの温度差があることがわかりました。窓を開けると涼やかな心地よい風が室内を通り抜けます。

(荘川要さん／かいた緑のネットワーク)

【ライフスタイル】(ごみ減量化)



学習塾をしています。塾では、教室内の子どもの人数や湿度に応じて窓の開閉を行い、冷暖房に頼らず快適な学習環境となるように心がけています。家庭では、ダンボールコンポストによる生ごみ減量化に取り組んでおり、さらに生ごみの発生量を減らすため、冷蔵庫の中の食材を「使いきる」ことを意識して取り組んでいます。コンポストは切り返し作業が重労働ですが、投入する生ごみが減ると、コンポストの管理も楽になりました。生活の中のムダを意識し、取り組みや活動の成果を仲間同士で報告、刺激を与え合いながら、自分でできることに少しずつ取り組みましょう。

(細谷マリコさん／脱温暖化・門田地域協議会)

【買い換え】(センサー付きLED電球の導入)



大崎上島けんこう文化の島づくり協議会と食生活改善推進員の活動をしています。アイドリグストップ運動など協議会の活動に参加することで、地球温暖化、省エネ、省資源を意識するようになり、「1つずつできる事をしていこう」と考えました。夜間の来訪者のための玄関照明を一晚中点けておくのは無駄が多いと感じたため、センサー付きLED電球を導入することで解決しました。協議会活動だけでなく、近所の井戸端会議などでも日常的に取り組みの情報交換や啓発、声かけをしています。「私もやってみよう」と聞くとうれしさもひとしおです。

(川口多美子さん／大崎上島けんこう文化の島づくり協議会)

第5回に続き「私のCOOL CHOICE大募集」事業の受賞者のみなさまに、日頃取り組みでいる「私のクールチョイス」を紹介していただきます。

(健康科学センター)



眼病予防ねらい視野検査を導入 正常眼圧緑内障の早期発見へ

中高年の失明原因第一位は緑内障です。緑内障は、放置すると少しずつ見えない部分が広がっていく病気です。早期には片方の眼に見えない部分があっても、もう片方の目がカバーするため、かなり進行するまで自分では気づかないこわい病気です。視神経に障害が起こってしまつと回復が難しいため、早期に見つけて治療を開始し、症状の進行を遅らせることが大切です。

緑内障は、40才以上の20人に1人が罹患していると推定されています。また、緑内障の約7割が、眼圧検査だけでは分からない正常眼圧緑内障です。

正常眼圧緑内障は初期の自覚症状が乏しいため、75〜90%の方が気づかないうちに進行します。

健康クリニックでは、正常眼圧緑内障の早期発見をねらい、眼圧検査に加え、視野検査を導入し眼科健診の充実を図りました。

●人間ドックで実施している眼科検査

【視野検査】

視野検査は物を見る範囲が正常かどうかを調べる検査で、時間は約5分です。

10 新規メニュー(視野検査)

高眼圧症や緑内障、網膜剥離、虹彩毛様体炎などの眼の病気にかかっているかどうか検査します。

【眼底検査】眼底の写真を撮り、血管の状態を外から観察します。網膜疾患、視神経疾患などの眼の単独検査はもちろん、糖尿病、高血圧、高脂血症など全身疾患の合併症の病状まで把握できます。

●受診コースについて眼圧検査、眼底検査がコースに含まれている人間ドックを受診される方は、視野検査を単独で追加できます。コースに含まれていない場合は眼科セット(視野検査、眼圧検査、眼底検査)がお勧めです。

定期的な眼科健診は、視力を守る上で、簡単で最も確かな方法です。視力の変化や眼の健康が不安な方、家族に眼病の人がいる場合には毎年1回、眼科健診を受診して眼の健康を守りましょう。

(健康クリニック)

【検査項目】(検査時はコンタクトレンズの容器をなるべく持参してください)

検査項目	注 意 点
視野検査	通常使用の眼鏡はかけて実施できます 老眼鏡・遠近両用眼鏡は、はずして検査します
眼圧検査	眼鏡・コンタクトレンズをはずして検査します
眼底検査	眼鏡・コンタクトレンズをはずして検査します

健康クリニックは、平成28年度末からドックフロアの改修工事を行い、4月10日にリニューアルオープンしました。今回は、安全で快適な受診環境の整備と効率よく受診できる検査機器の配置、受診者のプライバシー保護といった視点に立ち、人間ドック学会の改善推奨事項も踏まえて、1階と2階に分散していた受付を1階に集約し、受付及び精算などの業務を一元化しました。

2階は、採血コーナーを明るい窓際に移し、採血で気分が悪くなつたことのある方や不安の強い方が横になって採血できる設備も整えました。超音波検査室も1室増設して個室に改修し、心電図室を2室にしました。フロア全体でスタッフの導線を考慮し、検査室を合理的な配置に変更しました。

さらに、各検査室に通

ドックフロアをリニューアル 快適で効率的な受診環境へ



落ち着いた雰囲気の下、明るい採血コーナー



し番号のプレートを設置して、受診者が分かりやすく、効率的な誘導ができるようにしました。

受診者の評判も概ね好評で、「待ち時間が短縮されスムーズに受診できた」「検査を待つている間も落ち着いて過ごすことができた」といったご意見をいただいています。

今後も安心で快適な健康づくり役に立つ人間ドックや健康診断が提供できるよう、継続的なドックフロアの見直しや検査機器の更新、予約システムの改善など職員一同努めてまいりますので、今後とも健康クリニックをぜひご利用ください。

(健康クリニック)

環境協 クリーンウォーク・環境の日ひろしま大会へ参加

○ごみゼロ・クリーンウォーク

6月4日、市内11カ所から旧市民球場跡地を目指して歩きながらごみを拾う「ごみゼロ・クリーンウォーク」が開催され、約6,100人が参加しました。環境協は出発地点のひとつで、当協会職員約120人と近隣事業所、団体など合わせて400人が集まり、横川駅前や中央公園周辺でごみ拾いや雑草の除去を行いました。

○環境の日ひろしま大会

6月4日、広島県庁前広場で



『低炭素社会～家庭の省エネ行動～』をテーマに、平成29年度「環境の日」ひろしま大会が開催されました。当協会は、自転車発電機を使い電球を点灯させる『発電Myチャレンジ』で発電量を競う大会や、トイレトペーパーの芯でリユース工作『がんばれカーブ応援このぼり』を行いました。

『がんばれカーブ応援このぼり』は、工作コーナーの席が参加者でいっぱいになるほどにぎわいました。子どもたちは自由な発想で、カラフルなオリジナルのこのぼりを作りました。この日の体験で、地球環境を守ることを学び、『家庭の省エネ行動』につながることに期待したいと思います。

第56回環境保健夏季大学

日時：平成29年7月6日(木)～7日(金)
受付開始：12:00～ 開講式：13:00～
会場：ツネイシしまなみビレッジ
(福山市沼隈町中山26-1)

主なプログラム：(予定)

【1日目】広島県の政策情報提供
(美化活動・がん検診勧奨)
分科会：重点メニュー活動交流

【2日目】組織力診断・話題提供
分科会：これからの公衛協に必要な活動とは
1万人の食チェック事業お楽しみ抽選会

世羅・熊野に新店舗オープン

ロコモ予防に巡回型エクササイズ

当協会では、県民の健康寿命の延伸をめざした構想の一環として、平成28年度からキャラバンフィットネス事業を展開しています。このたび、5月8日に世羅町小国店、5月11日に熊野店が新規オープンしました。昨年度オープンした早瀬店、安浦店と合わせ、県内4店舗で事業を展開します。

スタジオでは、運動器症候群(ロコモティブシンドローム)の予防につながる運動を取り入れたサーキット型エクササイズを提供しています。熊野店の運営協力団体である女性会代表の山野千佳子さんは「オープン時に比べて、みなさんの姿勢が良くなり、マ

シンのスピードもアップし、運動する姿がすてきになっています。筋力をつけるためには継続することが大切だと思います。」と効果を感じています。

キャラバンフィットネスの利用には毎月2千3百円(税込)の会費が必要です。

お近くの方は、ぜひ一度、無料体験をお試しください。

(新事業開発課)



熊野店オープニングセレモニー(上)、小国店サーキットエクササイズ(下)

平成29年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成29年度で58回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)

10,355,825



要綱を改正しました

平成29年4月1日付けで環境・健康募金の要綱を改正しました。2017公衆衛生推進手帖に掲載している要綱(p.48,49)の修正シールを配布しています。該当ページに貼付してご利用ください。

改正項目と内容

(主旨)

募金活動を行いやすいよう、分かりやすい文章に改めました。

(募金の目標)

戸口募金は一口50円を目標としていましたが、「募金の目標は、事業を行う地区衛生組織が定める」と改めました。

(募金配分方式)

募金配分方法を文章で説明し、目標額を配分基本額と改めました。

市町別一覧表

※この表は、平成29年5月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	742,000	44.5
海田町	989,981	41.3
熊野町	0	0.0
坂町	0	0.0
江田島市	0	0.0
竹原市	0	0.0
大崎上島町	0	0.0
大竹市	767,380	30.3
廿日市市	2,538,900	74.9
廿日市市大野	0	0.0
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	0	0.0
廿日市市宮島	0	0.0
安芸太田町	0	0.0

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	0	0.0
安芸高田市	0	0.0
東広島市	0	0.0
三原市	1,081,560	61.2
世羅町	0	0.0
尾道市	602,200	13.4
福山市	3,565,350	40.0
府中市	0	0.0
神石高原町	0	0.0
三次市	0	0.0
庄原市	0	0.0
呉市	0	0.0
その他	68,454	124.0
合計	10,355,825	18.0